

2016年5月～2027年3月の間に当院で、抜歯を受ける方へ

研究 通電剥離性歯科用セメントの開発 の実施について

1. 本研究の意義および目的

歯科医療では種々の素材を歯にしっかりと接着する必要がありますが、あまり強く接着してしまうと、剥がしたいときに剥がせなかったり、剥がすと歯が痛んでしまうことがあります。この問題を解消するための新しい手法として、接着剤として用いるセメントに特殊な液体（イオン液体）を混ぜ、電気を流すことにより接着剤が壊れる「通電剥離性歯科用セメント」の開発を行っています。本研究により、剥がしたいときに、容易且つ安全に剥離が可能な接着剤が開発されます。

2. 研究の方法

通常の診療で抜歯が必要と判断され、廃棄される歯をご提供いただき、抜歯した施設の保管瓶に保管します。このためご提供いただいた歯は完全に匿名化（誰のものか分からなくなります）されます。その後歯は、徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野研究室に集め、通電剥離性歯科用セメントを用いていろいろな材料を接着し、様々な条件の電気を流し接着力を検討します。

3. 試料等の保存および使用方法について

歯は徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面矯正学分野研究室（責任者:田中栄二）にて保管し、研究に使用した歯は順次医療廃棄物として廃棄します。また、ご提供いただいた歯を他の目的に使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間:2016年5月から2027年3月まで。

予定症例数:本院における対象例数 70 例(70 本) 試験全体の対象例数 100 例(100 本)

5. 研究結果の公表について

研究結果は、関係する専門学会の学術集会や、学術雑誌にて発表を予定していますが、歯を集めるときに匿名化が成されているため、個人が特定されることはありません。

6. 個人情報に関して

本研究では個人情報を収集しません。

情報公開用文書

7. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、歯の抜歯時に申し出てください。

8. 研究機関、研究責任者および研究者

- 【研究機関】 徳島大学病院矯正歯科
【研究責任者】 徳島大学病院矯正歯科・教授・田中栄二
【研究者】 徳島大学大学院生体材料工学分野・教授・浜田賢一
徳島大学大学院生体材料工学分野・准教授・関根一光
徳島大学病院矯正歯科・講師・堀内信也
徳島大学大学院歯周歯内治療学・教授・湯本浩通
医療法人社団ケイ歯科クリニック・理事長・佐藤圭

9. 研究資金および利益相反管理について

本研究は、科学研究調査費を使用して実施されます。本研究で使用する歯科用セメントはスリーエムジャパン(株)より無償提供されておりますが、本研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のために専門的な判断を行うことはありません。

また、共同研究機関であるケイ歯科クリニックの研究責任者は、本研究に係る利益相反に関する状況について、本学の研究代表者・田中栄二に報告しており、研究代表者はケイ歯科クリニックにおいて本研究における利益相反がないことを把握しています。

本研究の利害関係については、臨床研究利益相反審査委員会の審査を受け、承認を得ています。

10. 連絡先

徳島大学病院矯正歯科・教授・田中栄二

☎088-633-7357

本研究への参加に同意しない場合は、抜歯時に申し出てください